

第3回士別市立病院のあり方検討市民委員会 議事録

1. 開催日時 令和7年7月10日（木）
2. 開催場所 士別市立病院 2階会議室
3. 出席者 委員：9名（欠席1名）

事務局他：副院長、他6名

4. 傍聴者 1名（報道4社）※そのほか関係者2名
5. 会議内容 開会

（1）事務連絡

（2）議題

①市民アンケートの結果まとめ

②令和5年度に実施した劣化度調査について

③士別市立病院の将来のあり方に関する検討

（3）その他

閉会

※配布資料

【資料1】市民アンケートの結果まとめ

【資料2】令和5年度に実施した劣化度調査について

【資料3】士別市立病院の将来のあり方に関する検討資料

6. 会議要旨

【事務連絡】

- ・この間の病院再整備に関する報告（議会特別委員会の設置）
- ・「病院かわら版第2号」の発行

【議題① 市民アンケート結果のまとめ】

- ・事務局から【資料1】に基づきアンケート結果の概要について説明。

【議題② 令和5年度に実施した劣化度調査について】

- ・事務局から【資料2】に基づき劣化度調査の内容、結果等について説明

委員

調査実施は。

事務局

令和5年度、株式会社ドーコンに調査を委託した。

委員

屋上の防水シートのメンテナンスは。

事務局

防水シートの更新については、コンクリートを打って保護しているためこれまで実施していないが、清掃等の維持管理は定期的に行っている。

委員

基本的に耐用年数は20年とされているが。

事務局

これまでに発生した水漏れの原因は天井裏の配管であり、屋上防水に支障は発生していない。

【議題③ 士別市立病院の将来のあり方に関する検討】

- ・事務局から【資料3】に基づき新たな地域医療構想や今後のあり方検討の協議テーマについて説明

◆病院の存続について

- ・病院の存続が必要であることを全会一致で決定。

◆将来の病院像について（各委員から聴取した意見の概要）

- ・人間ドックではすぐにその日に再検査ができ、利便性が高い。予防医療は重要。
- ・安心して市民が暮らせるのが大前提である。医療機能として、救急医療、入院は絶対必要だ。
- ・人口の減少の中、機能としてはコンパクトに。また、人口確保のために小児医療などの確保を目指すべき。
- ・尿、血液の検査を事前に施設ですることができ、当日は少ない待ち時間で見てもらえることは評価する。
- ・骨折の際、土曜日に市立病院に電話したら、専門医がいなかったため名寄市立総合病院にとのことで断られショックだった。

- ・病院は器よりも中身である。中身が悪ければよい診療にならない。患者の信頼が重要である。急性大腸炎と診断され点滴の相談をしたら、専門医となったが、市内の個人病院では点滴してくれた。このようなことが広まると信頼もなくなる要因となり、改めていくべき。
- ・救急は必要である。夜間、緊急医療ともに、日中はかかりつけの病院があるが、夜間等はすぐ近くの病院に救急車で運んでほしい。
- ・そんなに大きな病院はいらない。医療の質が重要。大やけどした際、適切な医療受けれずに医大で治療したことがあった。最善の治療を受けられなかったのが残念。よい医療とすれば患者がついてくるものと考える。
- ・乳がん検査の際、土別の病院で診てもらった。セカンドオピニオンで旭川の病院を紹介いただいたが、その対応で安心できた。
- ・知人で脳梗塞の症状があって市立病院を受診したが、大丈夫と帰された。名寄の病院に運転して行き、結果として脳梗塞だった。こうした不安は広まってしまう。
- ・産婦人科がないのは、若い方は不安がっている。名寄に行ったほうが早いですが、自分で運転できる人もいれば、できない人もいる。その辺の機能を厚くしてほしい。
- ・健康で医療の必要性がない方に市立病院が必要なイメージがつかないかもしれない。そのような方々にも検討内容を伝えていくことが必要である。市民にとって頼れる病院であってほしい。
- ・市の財政状況を踏まえコンパクトな病院にすべきである。建て替えがベストであり、病院を改修していくことは患者がいる中、難しいし相当なコストがかかる。

市庁舎も20年後を見据えてコンパクトにしている。人口減少率を見た中でどれくらいの規模がよいか考えていくべき。

公立邑智病院の話で、命にかかわる医療、産婦人科は絶対置きたいとの話があった。いかに患者が安らげるかであり、公立邑智病院はそこに特化し職員が日々研鑽しているように思える。

- ・高齢化社会の中、住み慣れた地域で安心安全に暮らすためには病院が必要だ。お年寄りにとって安心でき、すぐに対応できる。救急、夜間も重要だ。
- ・救急隊にお世話になり一命をとりとめた。若い人は必要ないと思うが、皆さんいずれ歩む道である。ただし、資金面も担保する必要あり。
- ・病院の空間構成など、公立邑智病院を参考してオープンスペースの中で医療を整えるべき。
- ・医者不足、看護師不足、命と健康を守る病院を市民で支えられないか。